

5月)のうちに施工した、上流部の工事を野鳥の繁殖期である3月までに完了する必要があるた

オルニア州で施工された工事の中で、チャレンジャーや業界・社会への貢献度、安全性、工事・デザ

ル鉄管を採用したチャレンジャー性が評価され、また、短工期、傾斜地での施工、振動・騒音対策等の制約

ラバレー水道事業団での導送水管の布設替え事業が表彰されたとのこと、わが国が誇る水道の

震被害が予想される地域で普及することを期待している」と話している。

「カバー」を開発した。津波や集中豪雨から配管を通して施設内への浸水を防ぐもので、①内圧、外圧へ対応可能②配管のあらゆる変位を吸収可能③補強布内蔵で高圧対応④シールはワンカット品で既設配管への設置可能の特長がある。

水道管洗浄を海外で

中里建設 JICA 案件化調査に採択

中里建設(栃木県佐野市、中里聡社長)が国際協力機構(JICA)の「中小企業海外展開支援事業(案件化調査)」で提案した、「都市給水の水質及び供給力を向上す

るための送配水管内洗浄案件化調査(インドネシア)が採択された。栃木県での採択は初めて。これを受けて同社では8月27日、同社で技術の実演を行った。同社が開発

したアクアピク工法の海外展開を視野に来年1月から1年間、インドネシアで調査を行う。

案件化調査は途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術とのマッチングを行うもので、2012年度から実施している。2018年度第1回公示では20件が採択された。

調査では、ジャカルタ近郊のプカシ市でアクアピク工法の現地適合性や事業モデルの妥当性を検証するとともに、インド

ネシア国内での同工法の普及に向けた事業化の可能性を検討する。中里社長は「案件化調査採択は非常に嬉しい。宇都宮大学にも支援いただいて採択されたと思っ

装置や反応タンクに空気を供給する送風機の電力が、水処理施設全体の9割以上を占める。小規模処理場での採用が多く、中大規模への適用にはネックとなっていた消費電力の削減が必要となっていた。

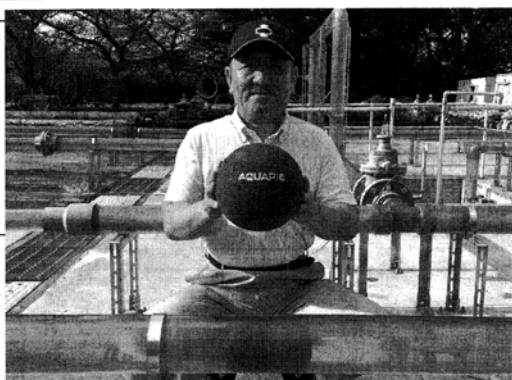
アクアピク工法は圧縮と復元力を持った「アクアピク」を手にする中里社長

アクアピク工法は圧縮と復元力を持った洗浄器具であるアクアピクを水圧により水道管内に送り込み、物理的な摩擦を利用して堆積物を管外へ排出する洗浄技術。インドネシア水道の水質改善、供給量の向上、既設配水管の寿命延長を低コストで実現することが期待されている。

日本推進技術協会は10日、今年度の「推進工事技士試験」の合格者を発表

日推協 日本推進技術協会は10日、今年度の「推進工事技士試験」の合格者を発表した。一次試験合格者は154人(合格率57.2%)、二次試験は11

8人(40.3%)。一次、二次を通しての受験者総数は3228人で、最終合格率は36.0%だった。合格者番号は、同協会本部、地区担当事務所で掲示したほか、ホームページや機関誌「月刊推進技術」10月号に掲載している。



圧縮と復元力を持った「アクアピク」を手にする中里社長

なお、この実証試験の内容は、東京ビッグサイトで開催されるIWA世界会議のテクニカルセッションで発表する。発表日時は9月20日11時~11時15分(発表会場:レセプションホールB)。

日本推進技術協会は、一度に多くの職員を派遣するのが難しい状況にある、同協会に出前講習会の開催を打診した。

さして現在の「オン安全管理講習会」を実施し、受講者は930人を超えている。また、JICA

り、色度や臭気物質の分解に活用されている」と、上下水道分野におけるオゾン利用状況が紹介された。濃度測定については検知管法や紫外線吸収法などの概要とポイントを説明。注意点については「常温において十数時

「オン協会 安全管理技士制度の効果的な普及へ」

「オン協会 安全管理技士制度の効果的な普及へ」

沖縄で初の出前講習会

オン協会 安全管理技士制度の効果的な普及へ

このことであ トップも「バフさんが来てくれた、今後は」と喜ばれ、歓待を受けた。ただし、それは地道な努力の

日本オン協会は、沖縄県企業局の要請により、同局北谷浄水管理事務所

でオン安全管理講習

「オン協会 安全管理技士制度の効果的な普及へ」

「オン協会 安全管理技士制度の効果的な普及へ」